

卒業生代表挨拶

日差しが日々やわらかくなり、命の躍動する春の訪れを感じる季節となりました。

本日は、私たち卒業生のためにこのような式典を開催していただきましてありがとうございます。そして、ご多忙の中ご臨席賜りました安部理事長、中島学長をはじめとした諸先生方に卒業生一同心よりお礼申し上げます。

この6年間に思いを馳せると、語り尽くせないほどの思い出がよみがえってきます。右も左も分からないままこの体育館で入学式を迎えたあの日から、諸先生方のご指導の下、講義や学内実習、実務実習、卒業研究、そして薬剤師国家試験の受験を経験し、今ここに立っていることは私たちにとって大きな自信となっています。決して楽しいことばかりではありませんでしたが、どんな時も私の周りには支えてくれる仲間がいました。だからこそ、一人では諦めてしまうことも成し遂げられたのだと思います。苦楽を共にし、互いに励ましあい高めあえる仲間に出会えたことは、私の人生の宝です。

さて、私たちは今、大学生生活の重みが詰まった学位記をいただきました。本日をもって長崎国際大学を巣立ち、社会人として歩み始めます。

現在、新型コロナウイルス感染症が世界的な問題となっており、その脅威に怯えている人も多いことと思います。このような脅威に直面する度、あたりまえの日常があたりまえではないことを痛感させられます。こうした状況だからこそ広い視野で物事を見据え、正しい知識と柔軟な発想で考えることが必要です。私たちは大学生活を通して、学問の知識や技術はもちろんのこと、人間尊重、ホスピタリティの精神も学んできました。さまざまな問題が噴出している昨今、長崎国際大学の卒業生である私たちの果たすべき役割は、大きくなってきていると感じています。今後はそれぞれの道を進んでいくことになりますが、長崎国際大学の卒業生としての誇りをもち、感謝と思いやりの心をもって、一人ひとりが自分の責任を果たし社会の原動力となるよう努めて参ります。

最後になりましたが、未熟な私たちと真摯に向き合い、ご指導いただいた先生方、学生生活を支援していただいた職員のみなさま、温かく見守り続けてくれた家族をはじめ、多くの方々の支えがあって無事に卒業の日を迎えることが出来ました。これまで支えてくださった全ての方々に心よりお礼申し上げます。そして皆様のご健康と、長崎国際大学のますますの発展を願い、卒業生代表の挨拶とさせていただきます。

令和2年3月14日

卒業生代表 薬学部 薬学科 山脇 知実